



横浜市立大学母性看護学研究会 NEWS LETTER

vol.02
2018.03

平成29年度 母性看護学領域

中村幸代(教授) 宮内清子(准教授) 佐藤いずみ(助教) 竹内翔子(助教)



卒論を終えて

卒業研究を通して、医療資源が十分でないフィリピン地方における医療者の信念と医療の限界を学ぶことができ、国際的な視野を広げる経験となりました。

(平成29年度ゼミ生 田中菜々子さん)

平成29年度卒業研究発表会開催

平成29年12月11日に、母性ゼミ9名が卒論発表を行いました。今年度は助産院だけでなく、フィリピンもフィールドに統合実習を行いました。

学生の研究テーマ

- ・助産師が捉える助産師と妊娠期の女性の関係における共感プロセス
- ・初産婦の出産に対する自己効力感を高める助産師のかかわり
- ・妊娠初期の就労妊婦への助産師のかかわり
- ・育児参加に関する立ち会い分娩予定の夫への助産師の関わり
- ・産後ケア施設を利用する母親に対する助産師によるメンタルヘルスケア
- ・産後の女性の就労継続に関する日常生活におけるニーズ
- ・フィリピンの地方保健所における産褥期異常を予防するための医療者の認識
- ・複数の子どもの母親となった女性の上の子を想う気持ちと関わり
- ・夫婦が協力して育児を行うための助産師の関わり

教員の研究活動



平成29年9月にタイで開催されたIACSC(International Academic Consortium for Sustainable Cities)において、平成28年度フィリピンFWで実施した健康教育に関する実践報告を行いました。

第32回日本助産学会学術集会が平成30年3月に横浜で開催され、演題発表の他、座長などの役割も担いました。平成29年度の母性ゼミ生も学会の運営に協力してくれました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



上記以外にも、様々な学会での発表や論文投稿を行っています。各教員の業績(詳細)についてはresearch mapをご参照ください。

🌸 本学大学院へ進学をお考えの方は、いつでもお気軽にご相談ください。

【お願い】

登録メールアドレス変更の方は下記までご連絡ください。
連絡先: 竹内 翔子 (shoko@yokohama-cu.ac.jp)

第1回交流会を開催しました!



平成30年3月20日(火)に本学の看護教育研究棟で第1回目の母性看護研究会交流会を開催しました。

在校生、卒業生、母性教員で近況報告をしたり、助産進学や母性ゼミに関する情報交換を行うなど、お互いの親睦を深めることができる会となりました。今回参加できなかった方は、ぜひ次回ご参加ください!

母性ゼミ卒業生より

浅村香那さん(H27年度卒)
助産師として働き始めて感じたことは責任感の大きさです。お母さんと赤ちゃんの命を守るためには多くの知識、そして技術が必要であること。そのために勉強勉強の日々です。一人前の助産師になるまでは先が長く、辛い時たくさんあります。しかしお母さん達の笑顔、そして感謝の言葉を糧に頑張っています!

岩崎十萌さん(H28年度卒)
私は現在消化器内科で働いています。母性ゼミで学んでいた分野とは全く違いますし、様々な患者さんに対する看護とは何か、悩むことも多々ありますが先輩達に支えてもらいながら新しいことを学び、充実した日々を送っています。

松村香穂さん(H28年度卒)
約1ヶ月前に助産師国家試験が終わりました。この1年間は忙しく辛い日々もありましたが、現在は卒業必要単位を取得し終え、修了式を待つのみとなりました。4月からの就職に向け準備を進めています。